

養父市 定例記者会見

日時：平成31年4月10日 午前10時00分から

場所：養父市役所 第1会議室

1 発表事項

資料番号	発表事項	発表者	開催日
1	兵庫県食品衛生管理プログラム（兵庫県版HACCP）の認定について	学校給食センター	4月18日
2	養父市アムナックススマート農業実証コンソーシアムの設立について	国家戦略特区・地方創生課	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

2 資料配布

資料番号	内容	配布元	開催日
1	「お走りまつり」について	養父地域局	4月13日～4月14日
2	糖尿病連携手帳の贈呈式について	健康課	4月23日
3			
4			
5			

養父市記者発表資料（**発表**・資料配布）

養父市記者発表資料（ 発表 ・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
4月10日（水）	学校給食センター	079-664-1801	所長 井垣 信子 （主幹 藤原 広巳）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

兵庫県食品衛生管理プログラム（兵庫県版 HACCP）の認定について

1 認定について

養父市学校給食センターは、兵庫県食品衛生管理プログラム（兵庫県版 HACCP）の認定を受けることになりました。

これは、HACCP（ハサップ）の考え方に基づく衛生管理システムと食品の履歴を明らかにするトレーサビリティを導入し、一定水準以上の衛生管理のもと食品を製造・加工していることを知事が認定する県独自の制度です。

兵庫県下の学校給食センターとしては、5施設目、但馬の学校給食センターとしては初の認定となります。

2 認定証交付式

- (1) 日時 平成 31 年 4 月 18 日（木）14：00～
- (2) 場所 豊岡市幸町 7-11 豊岡総合庁舎 2 階 但馬県民局長室
- (3) 内容 兵庫県食品衛生管理プログラム認定証の交付

3 HACCP（ハサップ）導入の目的

養父市学校給食センターでは、一般衛生管理を遵守し、安全・安心な学校給食を提供してきました。HACCPの導入により、さらに下記内容を目指します。

- (1) 学校給食の安全性の向上を図る。
- (2) 市内の小・中学校との信頼性を高める。
- (3) 職員のモチベーションを高める。

4 その他

県庁、但馬県民局の同時記者発表（配信）は、4月10日（水）の予定です。

今まで認定されている学校給食センターは下記の4か所です。

- ・加東市学校給食センター
- ・上郡町学校給食センター
- ・洲本市立五色給食センター
- ・南あわじ市学校給食センター

5 問い合わせ先

養父市学校給食センター

〒667-0114

養父市小城 597 番地 1

TEL079-664-1801 FAX079-663-4088

兵庫県食品衛生管理プログラム認定制度（兵庫県版 HACCP）とは

兵庫県食品衛生管理プログラム認定制度（兵庫県版HACCP）

兵庫県では、HACCPの考えを取り入れ、一定水準以上の衛生管理のもと食品の製造・加工している県内の食品関係施設を県版HACCP施設として認定する制度を平成14年に全国に先駆けて創設し、現在は、「食の安全安心と食育に関する条例」に本制度のより一層の推進を図ることとしました。

本制度は、大きく分けてHACCP、トレーサビリティ、コンプライアンスの3つの要素から成り、これらの基準を満たした施設は、知事による認定を受けることができ、製造された製品には、「認定マーク」を表示できます。



兵庫県版HACCP



安全

安心

信頼

トレーサビリティ

コンプライアンス

食品や原料を「誰から入荷」し、「誰に出荷」したのかを把握。

関係法令・規則などの基本的なルールを遵守。

認定制度のイメージ

養父市記者発表資料（発表）

資料番号

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
4月10日(水)	企画総務部 国家戦略特区・地方創生課	079-662- 3169	課長 羽瀨 猛 (主幹 濱 宏文、主事 東 宏樹)
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市アムナックスマート農業実証コンソーシアムの設立について

養父市では「日本一 農業をしやすいまち」の実現に向け、国家戦略特区の規制緩和による特例事業や国県補助事業を活用し、中山間地農業のスマート化を目指しているところです。

今般、この取り組みの一環として、農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に参画するため、特区事業者である株式会社Amnak及び関係機関とともに「養父市アムナックスマート農業実証コンソーシアム」を平成31年4月4日に設立し、スマート農業に取り組むこととなりましたのでお知らせします。

1. 農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」及び「スマート農業加速化実証プロジェクト」の概要

近年、技術発展の著しいロボットやAI、IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を現場に導入・実証する取り組みを支援する事業。

公募には全国から252件の応募があり、養父市は平成31年3月20日に69件の一つとして兵庫県で唯一採択された。

実施期間：平成31(令和元)年度～令和2年度の2か年度

採 択 額：平成31(令和元)年度46,872千円 ※2年目は別途今後決定します。

2. 養父市アムナックスマート農業実証コンソーシアムの構成

代表機関：養父市

生産者：株式会社Amnak

共同実証機関：国立大学法人京都大学(大学院農学研究科)、ソフトバンク株式会社
株式会社東海近畿クボタ、クボタアグリサービス株式会社
マゼランシステムズジャパン株式会社

3. 実証するスマート農業技術体系の概要

実証内容

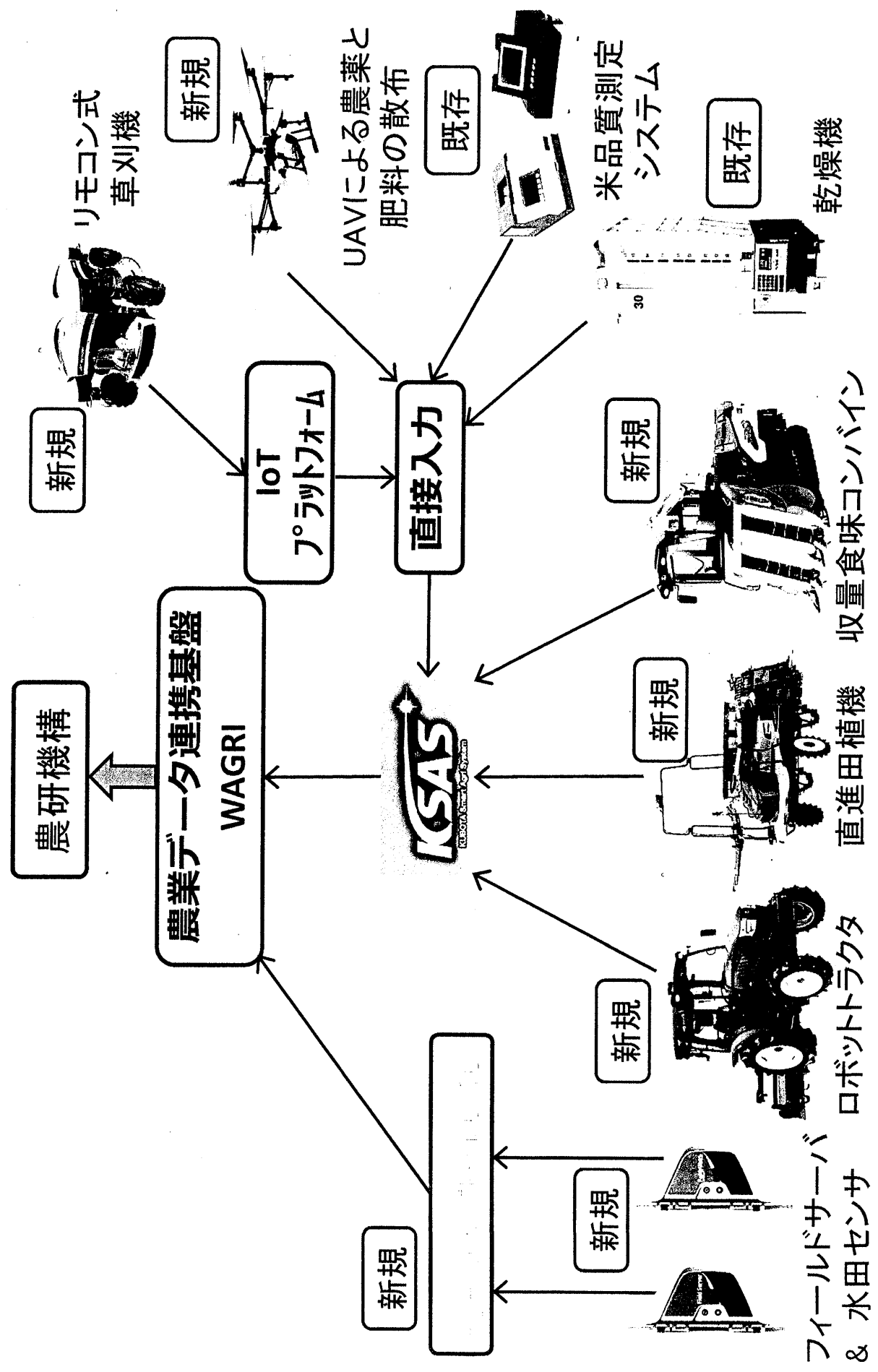
持続的営農を目指した山間部水田作地域におけるスマート農業の実証
技術体系

- 山間部の測位精度の低下解消のための準天頂衛星測位システムに基づく高精度受信機を用いたロボットトラクタによるほ場内の自動運転。
- 高低差が大きい山間部ほ場でのドローンによる農薬と肥料の空中散布。
- 山間部ほ場特有の急傾斜かつ広範囲に及ぶ法面の除草管理のための無線遠隔草刈機の導入。
- 食味収量コンバインによる、ほ場ごとの収量及び品質測定。

農研機構ホームページ

http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/130097.html

経営・栽培管理データの収集と統合



スマート農業技術の開発・実証プロジェクト

【平成30年度第2次補正予算額 6,153百万円】

<対策のポイント>

国際競争力の強化に向け、近年、技術発展の著しいロボット・A I・I O T等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を生産から出荷まで一貫した体系として速やかに現場に導入・実証する取組等を支援します。

<政策目標>

生産額を1割以上増加又は生産コストを2割以上低減させる技術体系を確立 [平成32年度まで]

<事業の内容>

1. スマート農業技術の開発・実証

○ 実用化・量産化の手前にあるロボット・A I・I O T等の先端技術を、生産現場において、生産から出荷まで一貫した体系として導入・実証し、経営効果を明らかにする取組を支援します。

また、農業者の主体的な参画を得て、生産現場が抱える課題の解決に必要な要素技術を現場に導入し、技術・経営の効果を実証する取組を支援します。

併せて、スマート農業と連携しつつ、栽培体系の高度化等を図るための生産・加工・流通関連技術の開発を支援します。

2. データ分析・解析を通じた技術の最適化

○ (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が、実証計画やデータ収集等への助言・指導や、収集したデータを基にした技術面・経営面からの分析・解析を行います。また、これらの分析・解析結果を踏まえ、先端技術の導入による最適な技術体系を検討し、情報提供を行います。

<事業の流れ>

交付
(定額)

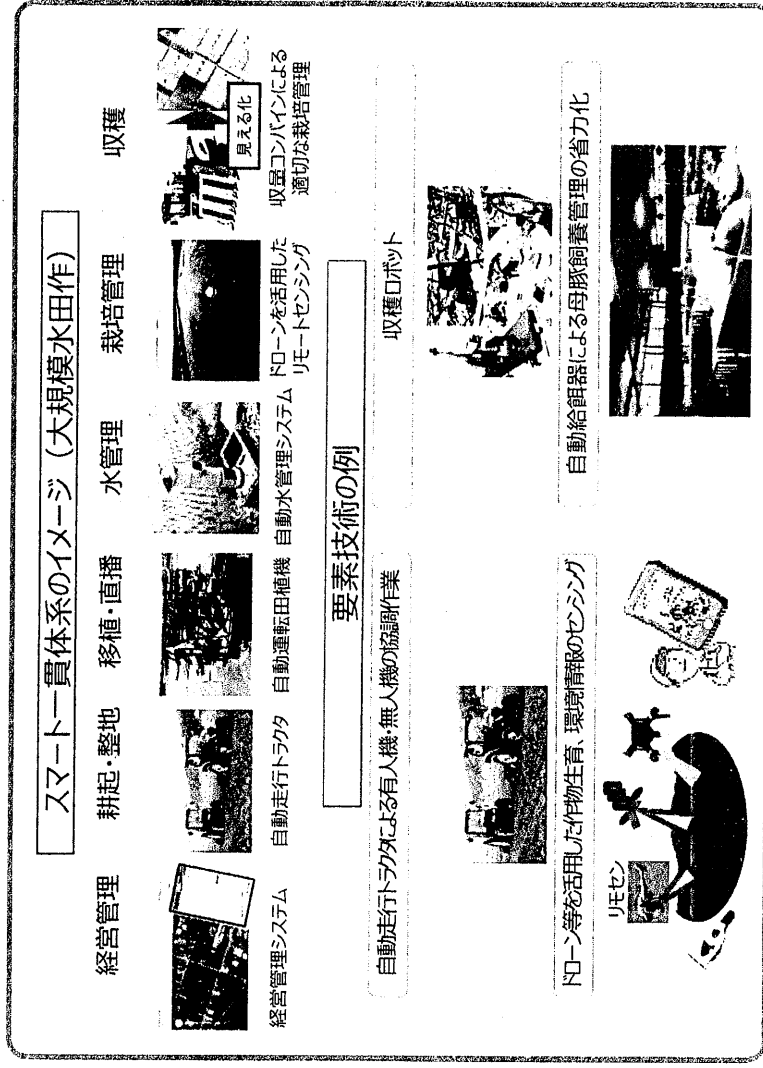
国

委託

(国研) 農業・
食品産業技術
総合研究機構

民間団体等

<事業イメージ>



先端技術導入による最適な技術体系を確立

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-6744-7043)

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
4月10日（水）	市民生活部 養父地域局	079-662-0281 （104）	局長 池田 雅美 （局長 池田 雅美）
<p>【報道解禁】新聞： 月 日（水）朝刊 テレビ： 月 日（ ） 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。</p>			

「お走りまつり」について

但馬に春の訪れを告げる養父の奇祭「お走りまつり」が、4月13日から14日の2日間旧養父町内で開催されます。神輿が養父神社から斎神社までの集落を巡り、「お走りさん」と呼ばれ、「但馬三大祭り」の一つとして広く知られている祭りです。

神輿は、養父神社から遥々18km離れた斎神社をめざします。道中、小城では、水嵩の増した大屋川を渡る「川渡御」の勇壮果敢な姿に、多くの見物客から歓声が上がります。

三谷地区の巖島神社では、斎神社の神輿が出迎えに来られ、そこで行われる150kgもある神輿の練り合わせは圧巻です。神輿はその後、建屋で宿泊されます。

翌日は、二つの神輿が揃って斎神社にお参りします。帰りには、斎神社の神輿が建屋まで見送り、年に一度の出会いを惜しむかのように最後の練り合わせが行われたのち、神輿はそれぞれの神社へ帰られます。

春の一日、是非、皆様お誘い合って、お走りまつりにお出かけください。

1 主 催 お走り祭り保存会

2 期 間 平成31年4月13日（土）～4月14日（日）

4月13日（土）午前9時00分 養父神社出発～午後5時00分 建屋到着

4月14日（日）午前8時00分建屋出発～斎神社～午後8時00分 養父神社到着

3 場 所 養父神社から斎神社まで

※川渡御 4月13日（土）午後0時30分頃 小城橋上流

煉合せ 4月14日（日）午後1時00分頃 建屋公会堂付近

7 問合せ お走り祭り保存会 電話：079-665-0252

やぶ市観光協会 電話：079-663-1515

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
4月10日（水）	健康福祉部健康課	079-662-3167	課長 川濱 美保 担当 濱 和子
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

糖尿病連携手帳の贈呈式について

八鹿ライオンズクラブより糖尿病連携手帳の寄附を受けることになり、下記の日程で贈呈式を行う。

記

1. 目的 八鹿ライオンズクラブは奉仕活動として糖尿病予防啓発を実施している。市では「養父市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、対象者へ受診勧奨・保健指導を行うことにより重症化予防を図っている。指導の際、糖尿病の自己管理を促し合併症を予防するために対象者へ「糖尿病連携手帳」を配布している。この度、八鹿ライオンズクラブより「糖尿病連携手帳」の寄附を受けることになり、市の糖尿病重症化予防に活用していく。
2. 日時 平成31年4月23日（火）午前10時～（1時間程度）
3. 場所 養父市役所2階 市長室
4. 内容 糖尿病連携手帳の贈呈式
糖尿病連携手帳 50冊×3年分 計150冊
5. 出席者 八鹿ライオンズクラブ 会長他4名
6. 問合せ先 八鹿ライオンズクラブ 事務局
電話 079-662-2681

養父市健康福祉部 健康課
電話 079-662-3167